

図画工作科 授業改善推進プラン

1 観点ごとの児童の実態

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な材料や用具を使い、表現活動を進めることで基礎的・基本的な技能を習得しています。 ○のりやはさみを使う経験が少なく、上手に使うことができない児童がいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の感覚や行為を通して色や形に気付いたり、身近な材料や用具を使い、表し方を工夫したりしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○表したいことに合わせて、形や色、材料や用具の特徴を活かしてついたり、表し方を工夫したりしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○表したいことに合わせて、材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの経験を生かし、表し方を工夫しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○素材や場所などに進んで関わり合い、材料や用具の特徴を活かして使い、表現に適した方法などを組み合わせようとしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○素材や場所などに進んで関わり合い、材料や用具の特徴を活かして使い、表現に適した方法などを組み合わせようとしています。
思考力, 判断力, 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○自分らしさを作品に表現することができています。 ○作品を見合って、友達の良いところを見付けたり、伝えたりしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の思いを表そうと、感じたことや想像したことをもとに、楽しく制作しています。 ○作品や材料を友達と見て、話し合ったり、発表し合ったりしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○感じたこと、想像したこと、見たことをもとに、自分の表したいことを見付けています。 ○自分たちの作品や、身近な美術作品や制作の過程などを鑑賞して、よさや面白さを感じ取っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の思いを大切にしたい表現の仕方や発想に、多様な展開が見られます。 ○自分たちの作品や、身近な美術作品や制作の過程などを鑑賞して、よさや面白さを感じ取っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○形や色の構成の美しさや、用途などを考えながら、発想し、想像力を働かせています。 ○自他の作品、我が国の美術作品などを鑑賞して、感じ取ったり考えたりしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○材料や場所などの特徴を基に発想し、自分らしいアイデアをもとに取り組んでいます。 ○自他の作品、美術・工芸作品などを鑑賞し、感じたことや思ったことを話したり、友人と話し合ったりしてよさや美しさを感じ取っています。
学びに向かう力, 人間性	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲をもって取り組み、造形活動を楽しんでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎週の授業を楽しみにしています。造形活動が大好きで意欲的に取り組んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○とても意欲的に取り組んでいます。新しい体験を楽しみながら活動しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○造形活動の体験を深めることに意欲的に取り組んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○造形活動を楽しみながら、意欲的に自分らしい造形表現スタイルを探求しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○造形活動を楽しみながら、意欲的に自分らしい造形表現スタイルを探求しています。

2 課題と改善策、検証方法

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
課題	○これまでの経験に差があり、材料の形や色などをもとに造形的な活動を思い付いたり、どのように活動したり表したりするか考えたりし、楽しく発想や構想をすることが難しい児童が見られます。	○感じたことを話したり、友人の話の聞いたりして、形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどを基に、自分のイメージをもつことができていない児童が見られます。	○感じたことや思ったことを話したり、友人と話し合ったりするなどして、いろいろな表し方や材料による感じの違いなどがあることに気付く必要があります。	○表現活動や鑑賞を通して、形や色、材料などを生かしながらどのように表すかイメージをもつことができていない児童が見られます。	○動きや奥行きなどの造形的な特徴などをとらえることができていない児童が見られます。	○表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を活かして使い、表現に適した方法などを組み合わせることができるようになる必要があります。
改善策	○題材の見本を提示したり、材料の使い方などを確認したりしながら説明し、基礎的・基本的な技能を身に着けさせることで発想を広げることができるようになります。	○課題に即した作品鑑賞を通して、友人の作品が何に見えるかなど、形の見取りを発表し合わせ、イメージを言語化するなどして、表現の喜びをさらに深めていきます。	○自分たちの作品や、身近な美術作品や制作の過程などの鑑賞を深め、形や色などを基にした自分のイメージをもてるようにします。	○感じたことを話したり、友達と話し合ったり、共感的な声掛けをしたりするなどして、試しながら表したり、次第に表したいことを見付けたりしながら自分のイメージをもてるようにします。	○関連ある作品の鑑賞を通して、感じたことを話したり、友人と話し合ったりするなどして、動きや奥行きなどの造形的な特徴に気付くようにします。	○材料などの特徴をさらに深くとらえ、主題の表し方を構想する力を育みます。 ○自分の感覚や表し方の変化、表現の意図や特徴などを捉える力を育みます。
検証方法	○制作過程や鑑賞したことの発表などで行動観察をしたり、作品確認をしたりします。	○二人組の対話やグループでの話し合いの際、机間指導を行うことで行動観察をしたり、鑑賞ノートや作品確認をしたりします。	○制作過程やグループでの話し合いの際、机間指導を行うことで行動観察をしたり、鑑賞ノートや作品確認をしたりします。	○制作過程やグループでの話し合いの際、机間指導を行うことで行動観察をしたり、鑑賞ノートや作品確認をしたりします。	○構成計画や用途などを考える段階や、グループでの話し合いの際、机間指導を行うことで行動観察をしたり、鑑賞ノートや作品確認をしたりします。	○構成計画や用途などを考える段階や、グループでの話し合いの際、机間指導を行うことで行動観察をしたり、鑑賞ノートや作品確認をしたりします。